

第8回全国書写書道伝統文化大会 総合の部

【文部科学大臣賞】

東京都・宝仙中学校3年
峯田 彩世

訪中で学んだことも活かせた

私は今回、このような賞を頂けたことが凄く嬉しいです。私は小学2年生のときから書道を初めて、同じ教室に通っている中には幼稚園生やまだ小学校低学年の小さい子達が授業受けているのを夏期講習や冬期講習を受けているときによく見ます。私はその子達に比べたら書道を始めた時期はすごく遅いかもしれませんが、それをここまで続けてこられたからこそただただの賞だと思っています。

私は硬筆がすごく苦手で、字がガタガタになったり行で書いているとどんどん斜めになったりしてしまい、あまり硬筆で上の方の賞をとったことがなかったので、今回は毛筆と硬筆の総合ですが硬筆が上達したことを実感することができました。

最近では、団体として12月に日中交流のため中国に行かせて頂きました。ここでは、中国の子供たちが書道をやっている様子を見たり、一緒に食事をするなどの交流を深めることが出来ました。そこで、近くで中国の書道の文化と日本の書道の文化の違いについて触れることができました。例えば、私たちは条幅に大きな字をバランスを考えながら書いていきます。一方で中国の子供たちは条幅の紙に薄く鉛筆で正方形のマス目が書かれていて、その1マス1マスに漢字を書いていました。やり方としては硬筆と似ている様子でした。

このように、色々なところで学んだ事が今回の賞に活かせたと思っています。これからも、このようなチャンスをもものにできるようにしていきたいです。